報道関係者各位

2026 年 5 月 14 日
森ビル株式会社

「虎ノ門ヒルズ」と「麻布台ヒルズ」
空気調和・衛生工学会よりトリプル受賞を達成

森ビル株式会社（東京都港区、代表取締役社長：辻慎吾）は、この度、空気調和・衛生工学会（以下、同学会）より、虎ノ門ヒルズ ステーションタワーにおいて「第 64 回学会賞技術賞」、虎ノ門ヒルズ 森タワーにおいて「第 26 回特別賞十年賞」、麻布台ヒルズレジデンス A およびガーデンプラザ C において「第 3 回コミッショニング賞」をそれぞれ受賞し、トリプル受賞を達成しました。

「第 64 回学会賞技術賞」受賞： 虎ノ門ヒルズ ステーションタワー

「学会賞技術賞」は、学術と技術の進歩を図ることを目的に、会員の論文、設備技術の業績などのなかから特に優秀な取り組みを表彰するものです。

本受賞においては、地下鉄新駅整備と一体化した国際新都心の中核を担う大規模超高層複合施設において、新たな省エネルギー手法やウェルネスおよびレジリエンスの確立に向けたシステムを都市スケールで具現化したこと、汎用技術の巧みな応用と AI・センシング技術を統合することで脱炭素社会の実現と都市の強靭化を牽引する次世代の模範的な環境設備計画及びエネルギーマネジメントのモデルケースとなり得ること等が評価されました。

「第 26 回特別賞十年賞」受賞： 虎ノ門ヒルズ 森タワー

「特別賞十年賞」は、空気調和・衛生設備を長期間にわたり健全に維持する運用管理技術ならびに更新改修技術の発展と振興を図ることを目的に、会員のなかから特に優秀な取り組みを表彰するものです。

本受賞においては、約 13 万点におよぶ中央管理点を用いた質の高い性能検証と運用改善を、事業主、設計者、施工者、運転管理者が一体となって継続し、着実な省エネルギーを実現していること、竣工当初は先進的な取り組みであった中温冷水・低温温水を用いた多段階温度帯活用や蓄熱槽のクッションタンク利用などに関する運用実績や性能検証結果を、学会大会などを通して積極的に配信し、社会や業界に還元していること等が評価されました。

「第 3 回コミッショニング賞」受賞： 麻布台ヒルズレジデンス A、ガーデンプラザ C

「コミッショニング賞」は、空気調和設備を中心とする建築設備システム、地域エネルギーシステムの品質向上、省エネルギー性能、環境保全性能の向上を目指したコミッショニングの分野で特に優秀な業績を表彰するものです。

本受賞においては、発注者が中心となり長期的にコミッショニングを推進することで、各フェーズにおいて要求性能に基づいた適正な判断を行い、社会的変化やニーズに対応し、関係者全員に便益をもたらした好例であること、住宅・ホテル・商業施設といった幅広い用途へのコミッショニング適用は、省エネルギーだけでなく、BCP（事業継続計画）・LCP（生活継続計画）へと拡大し、今後のコミッショニングの普及展開・社会実装に寄与したこと等が評価されました。

虎ノ門ヒルズ

麻布台ヒルズ

当社は、引き続き、「都市を創り、都市を育む」の理念のもと、“都市と自然の共生”“都市の脱炭素化”“資源循環型の都市”を追求し、未来へとつながる持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【本件に関するお問合せ先】
森ビル株式会社 広報室
TEL： 03-6406-6606 FAX： 03-6406-9306 E-mail： koho@mori.co.jp